

新会員の紹介

《理事》柏尾珠紀、金崎いよ子、加村賀勇、河野芳明、笹江晃弘、眞田善之、沢井進一、鹿田良男、鈴木嘉恵、田中仁一郎、寺田守、中明子、中島正一、古川道夫、八尋由佳以上15名が承認されました。

《理事長》金崎いよ子 《副理事長》沢井進一、田中仁一郎

《専務理事（事務局長）》中明子 が互選されました。

《監査》佐藤育子、芝本伊三男

目田川モデル河川づくり ボランティア募集

2000年にいくつかの候補の中から目田川（準用河川）を選定し、「目田川モデル河川づくり」と称して保全活動を実践する場づくりを始めました。現在毎月第3土曜日9:00～11:00整備活動を続けています。



多世代で楽しみながらゆくりと活動を楽しませんか？夏のこの季節、草が大変繁茂します。たくさんの方のお力が必要です。どうぞ気軽にご参加ください！

○きれいな水がいつも流れる川

○魚たちが群をなし泳ぐ川

○この場にふさわしい樹木や草花が季節を伝える川辺があり初夏にはホタルが乱舞する川

○子どもたちに自然の遊び場と市民にやすらぎが得られる川

次回
8/20

◎目田川モデル河川づくり
毎月第3土曜日 9:00～11:00

今月の詩

限りなく 緑やさしき 樺の葉は
そよ風にゆれ 初夏を手招く
N.S.

田植え終え 夜はかえるの大合唱
音程いつもドレミのド
石田桜翠

投稿者募集中!!

びわこ豊穡の郷
公式アカウント

Twitter Instagram

2022年度これからの活動予定

開催日時	活動場所
◎夏休み生き物観察教室・自由研究教室 7月29日8月1日2日(金、月、火) 9:00～12:00	場 守山市ほたるの森資料館
◎ほたる講座 8月6日(土) 13:00～15:00 毎月第1土曜日	場 守山市ほたるの森資料館
◎びわこまるっと親子セミナー 8月6日(土) 10:00～11:40	場 滋賀県立琵琶湖博物館ホール
◎目田川モデル河川づくり 8月20日(土) 9:00～11:00 毎月第3土曜日	場 目田川河川公園
◎水辺の楽校(夏編) 8月27日(土) 10:00～12:00	場 目田川河川公園
◎吉身幼稚園川あそび 9月2日(金) 9:30～11:20	場 目田川河川公園
◎びわこ地球市民の森のつどい 10月2日(日)	場 びわこ地球市民の森
◎みんなの河川クリーン作戦 10月下旬	場 市内河川
◎もりやま市民活動フェスタ2022 11月18日(金)～20日(日)	場 市民交流センター
◎水辺の探険会 11月下旬 9:00～12:00	場 市内河川・豊穡の郷事務所



しじみのひとりごと

昨年末、自転車を購入しました。それから近距離の移動は雨天と急ぎでなければ利用しています。年を重ねて弱った足腰をカバーするのに電動アシスト自転車で向かい風に負けず頑張っています。安全の為、勢いよく走る自動車を避けてわき道を通っていると道端では草花も少しは見る事ができます。夕方になり通り過ぎる家々からは夕食の匂いもして時間がゆっくり流れていきます。走りながら考え事もするようになり、先日ふと半世紀以上昔の子供の頃 近くの小川の底でシジミがエサを食べる為か少し殻を開けて「筋」のように見えるところに竹の穂さきを入れて釣り上げて(?)遊んだことが思い出されました。 M・T

豊穡の郷 だより Vol.96

2022年7月31日発行 発行部数 1,800部

発行 認定NPO法人びわこ豊穡の郷 E-mail houjyounosato@lake-biwa.net
理事長 金崎いよ子 URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/
住所 守山市勝部五丁目10-25
TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)
FAX 077-558-5007

- 1面 守山ほたるパーク&ウォーク
- 2面 総会、水環境マップⅣ、守山市ほたるの森資料館新館長の挨拶
- 3面 水辺百選講座、SNS講習会、親子飛翔調査体験会、目田川キャンプ
- 4面 目田川モデル河川づくり、今月の詩、しじみのひとりごと



2022 守山ほたるパーク 第19回 & ウォーク

来場者数 / 約13,000人 (5/22・5/28・5/29)

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となりました。とはいえ未だ収束せず感染拡大防止対策を取りながら行われました。特に今回はシャトルバスに代わりシャトルタクシーを運行し、集団の観覧者回避ができました。しかしほたるの森資料館のBゾーンでは入り口付近から長い行列ができ、円形広場まで誘導する事となりました。そんな状況でも来場者の方々は大きな声も出さずゆつくりと進んでくださいました。イベントでは、もりやまふるさと劇団によるほたる公演「リバーサイドホタル2022」、和太鼓演奏・樂(がく)、本町自治会による「夢灯」等が行われ、ほたると共に心に残る楽しい出来事ではなかったでしょうか。今回より、守山ほたるP&Wのポスターや散策マップの表紙は子ども達が描いてくれました。来年度に向けて、8月31日まで募集を行っています。次のポスターを飾るのは誰でしょう。開催にあたり旭化成守山製造所、滋賀銀行をはじめ多くの団体がボランティアとして協力して頂きました。来場者数、約13,000人の方々が無事に観覧して頂いたのも皆様方のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。



和太鼓演奏・樂(がく)さんの演奏

通常総会

第19回(2022年度)通常総会を6月12日(日)に執り行いました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に配慮してオンラインでの開催となりました。本年度は中期目標である「地域との連携」「仲間づくり」「次世代

育成」「ネットワーク化」を進めながら、基盤強化にも力を入れて持続可能なNPO法人を目指します。会員の皆さまのご協力で、委任ならびに書面決議100名、参加者16名で、第1号議案、第2号議案、第3号議案すべて承認されました。新役員は、4面で紹介をしています。引きつづき会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



水環境マップⅣ完成

1996年設立以来、赤野井湾と守山市内河川80地点の水質調査を継続して行っています。今までの貴重なデータをまとめ『水環境マップⅠ』、『水環境マップⅡ』、『水環境マップⅢ』を発行いたしました。それから15年が経ち今回『水環境マップⅣーくらしのなか

の水ー』を発行しました。2020年から水環境マップⅣ委員会を立ち上げ、9人の会員で内容の検討から編集、校正まで全てを行い完成させました。地域愛が詰まった1冊となっています。水質調査員が減少しています。次号を発行できるように、興味のある方はぜひ豊穰の郷事務所にお声かけください。



守山市ほたるの森資料館

新館長
古川道夫さん



2022年度から「守山市ほたるの森資料館」の館長となりました古川道夫です。勤務して12年目ですがこの間に、当ほたる河川の飛翔数は多くなり、今年2010年以来最高の飛翔数となりました。ほたる河川のホタルの飛翔数の増加はもちろんですが、今後は市内での発生数の増加を見込んでいかなければなりません。そのためには「守山市

新館長の挨拶

ほたる条例」に基づく市内河川の維持管理が問題になってくると考えています。さらにこの時代、持続可能性という言葉が流行していますが、そういう意味では、ほたるの森資料館をふくめ、指定管理者としての持続可能な経営が求められています。今度どうやって運営主体の企業として生き残っていくかも考えなければならないと思います。



前館長
眞田善之さん

退任の挨拶

不思議なご縁がもて、守山市ほたるの森資料館館長として2020年6月から本年3月末までの1年10カ月の間務めさせていただくことができました。私自身、ほたるのことに目を向けだしたのは、ほんの10年ほど前からです。自分の幼少期の昭和30年代は守山ポタルの絶滅期で自宅近くの川は上流の染色工場からの工場排水や家庭雑排水の影響で生き物が住める状態ではありませんでした。そんな中、守山ポタルの復活に心血を注がれた

「南喜市郎」氏の存在を詳しく知ることになったのは館長になってからです。また、ここ20年来の守山ポタルの飛翔状況についても詳しく知ることができました。その結果、守山のホタルは南さんの業績を受け継いだ資料館の「ホタルの人工飼育」のおかげで成り立っていることも知ることができました。さらに、市内の保・幼・小・中学校や自治会、子ども会をまきこんだ「ホタル学習」の重要性についても守山市の「環境学習」するうえで重要な「キーワード」であることもわかりました。

そして、唯一の業績としては資料館の創設30周年記念DVDの制作にかかわれたことです。他はすべて「道半ば」にての退任で、本当に申し訳なく思っています。これまで楽しく資料館の運営に関わられたのは、豊穰の郷の関係者の方々や資料館職員の皆様、そして多くのホタルを愛する人々のご支援やご協力があったことです。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。これからはほたるの森資料館の運営にできる範囲でかわらせていただくとともに、地元玉津学区で「ゲンジポタルとヘイケポタルが見られる郷づくり」をめざして頑張っていきたいと思っています。

水辺百選講座

石山方面に行きました



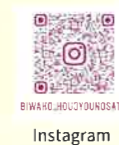
本年の水辺百選講座が7月10日(日)に12人の参加者を得て、開催されました。今回は守山から見て琵琶湖を経て下流にあたる瀬田川流域を訪れ、水辺にまつわるいくつかの箇所を見学しました。まずは瀬田の唐橋でバスを降り、鳥居川の水位観測所を視察しました。南郷にあるウォーターステーション琵琶湖に所属する水上氏の説明で、設置から100年以上経った今でも現役で琵琶湖の水位を測っているとのこと。次に立ち寄った西光寺参門

には、明治29年の琵琶湖大洪水の水位が刻み込まれ、軒下まで水が来た当時に如実に感じました。ウォーターステーション琵琶湖に到着し、目の前の大日山が瀬田川の水位に及ぼす影響についても説明してくれました。冷房の効いた当施設の会議室にて県立大秋山先生から、環境用水の話をお聞きしました。水利権で守られている農業用水等に対し、環境用水確保は難しい、とのこと。守山市は地下水をポンプで組み上げ金森川等の環境用水として流しています



が、湧水の激減した守山市でも、まだ地下水には恵まれていることを改めて実感しました。石山寺門前の洗心寮でランチの後、石山寺境内の散策をして予定通り帰還しました。

SNS講習会



6月8日(水)守山出身の元プロサッカー選手の村田和哉さんにSNS発信の勉強会をしていただきました。PowerPointを使って、豊穰の郷の発

信を分析していただき、弱点や対策をお話いただきました。Instagram、Facebook、Twitter、が変化しました。ご覧ください！



親子ほたる 飛翔調査 体験会

5月27日(金)夜のお散歩でハイテンションな子どもたちと飛翔調査をしました。体験会という形は初めての試みで、当日は3組の家族が参加くださいました。調査地点ごとにカウンターでホタルの数を数え、飛翔数をみんなで言い合い、妥当な数を記録しました。あまが池からほたる広場、守善寺、東門院、三津川に着くと少し疲

れた人もいました。しかし、最後にカナリヤ保育園の横の吉川川に行くと、たくさんのホタルの飛翔が見られたのでみんな元気になりました。ホタルがいっぱい見れて良かったという感想をいただき、調査を終えることができました。ホタルが棲む川を大切にしようという気持ちが少し広がったと思います。



飛翔調査をしてみたい！という方 豊穰の郷事務所にご連絡ください

目田川キャンプ

飛翔調査

6月10日(金)キャンピングカーを借り、目田川で飛翔調査キャンプを行いました。参加者は「小さな自然再生」活動でホタル自生のために、この川で頑張っている小学生とその保護者そして大学生のみなさん。夕食の火起こしからカレー作り、川沿いのジャンボテーブルでの夕食、キャンピングカーでお泊り。ほたるの森資料館の協力で

夜の資料館訪問とホタル飛翔調査だって、もちろんバッチリ行いました。どれを取っても楽しいことばかり。大人から子どもまでテンション高めな一夜でした。こんな楽しい活動ができる小さな自然再生の活動への参加者募集中！この様子はInstagramやFacebook、Twitterで見てくださいね！

小さな自然再生参加者募集

